大和 KBK 支部たより

発行人
KBK大和支部
編集人
小島　智恵子
創　刊
1999(H11)年9月20日
発行番号
№273
発行日
2022(R04)年05月15日

組合は、私たち美容師の地位とサロン経営のための権利を守ることを目的に活動しています。そのためには仲間がたくさん必要です。業界を守り、元気な業界つくりのために未加入の方をご紹介下さい。

WE NEVER GIVE UP！ Against COVID-19，22 ・・サロンを元気に!!・・

支部総会開催

５月１０日（火）、支部の通常総会が２年ぶりに対面で開催されました。
支部員総数６５名のうち、出席１８名、委任状３６、計５４名の参加により総会が成立。山口稔浩さん（南地区）の議長により、全ての議案が滞りなく終了。新年度がスタート致しました。
なお、資料の一部を以下の通り訂正。
７ページ
・地区連絡員追加：小池理香　南地区　夢幻舎　046-269-5602
・FAX番号訂正：大島祐子　0467-77-3562⇒0467-38-7491

新年度に向けて・・・役員挨拶・・・

目には青葉、爽やかな季節がやって参りました。
一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大防止の為、支部では思うような行事が出来ませんでした。
役員会も感染防止に最善の注意を払いWeB会議になりました。
長引くコロナ禍において『感染の不安』『経済的な不安』『将来への不安』でストレスを抱えております。こんな時こそ、何事にも好奇心を持ち、様々な事にアンテナをはり自分自身がワクワクする事や、興味のある事に向かって行動する事で笑顔になれるのではと思います。
支部では今後、組織力向上に向けてデジタル化を推進し取り組みを始めております。何事にもチャレンジ精神を持って１歩１歩目標に向かって共に学びです。
支部、支部員の人とのつながりを大切にしながら、美容組合に加入して良かったと思えるよう、役員一同、引き続き運営して参ります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。
支部長　菊地悦子

今年も新年から又々コロナが蔓延という幕開けになってしまいました。
追い討ちをかけるように、国際状況も不穏な状態です。このような状況で、美容業界も大打撃を受け、今はコツコツと手堅く営業するしかないのかなと思っています。
支部、地区、県もイベントも出来ず、皆様とお会いする機会も少なくなり寂しい限りです。
早くコロナが終息し、又皆様に会える日が来ることを願っています。
財政部長　野上理恵子

このコロナ禍で、青年部長・ヤッシーリーダーとして何も活動がすることが出来ず、あっという間に月日が過ぎてしまいました。
新しい病気が流行ると３年は続くと聞きました。感染者数が増えた！減った！と一喜一憂しながら、毎日のニュースを見るのが日課となってしまいました。
また、お客様や周りの人が感染したという話を聞くことも増え、ちょっと前までは対岸の火事の様な存在だったコロナも、あっという間に変異株も増えていき身近な存在となってしまいました。
マスク生活や消毒の日々…慣れたとはいえ、さすがに暑い夏が近づいてくると、軽装になるにつれマスクも外したくなりますが、まだまだ我慢の日々が続きそうです。
先日の支部たよりにも掲載いたしましたが、ヤッシーの活動としては冊子撮影・制作。また、バーベキューやスマホ教室など、他部長さんと一緒に色々な事を計画しながら、支部員の皆さまと交流がもてるような行事が行えるような年になればと思いますが、まだまだ心配で人が集まる所には行きたくない！と思っている方もたくさんいらっしゃると思います。
早くコロナも収束して、このような行事にたくさんの支部員さんが参加していただける日が早く来ることを祈っております。
青年部長　坪井美登利

令和４年度の大和支部活動が始まりました。
今年度も総務部長、頑張ります。
コロナウィルスの影響も３年目に入りましたが未だ終止符の先が見えません。支部員の皆様には今年も感染予防に最大現注意して営業して下さい。
支部の活動もウィルスの影響で皆様との対面での交流がなかなか出来ずご迷惑をおかけしています。
前年度の目標「デジタル化元年スタート」を本年もより一層推進して、良い情報等をスピーディーにお伝えしていきます。
支部のデジタル化への皆様のご協力宜しくお願い致します。
総務部長　引地　和隆

今年度も福利厚生を務めさせていただく、美容室カルロヴィータの大山涼子です。
昨年度は、コロナ禍の影響により福利厚生の活動も思うように出来ないまま現在にいたります。
コロナ禍になってから、福利厚生部の活動をどのようにしていくべきか悩ましい日々が続いております。
今まで支部員の皆さまと集まれていた時は、ご意見などを直接聞ける機会が多くありました。しかし現在は、その機会がありません。何より、元気にされているかさえ、直接伺うことも出来ない日々だったと思います。ただ最近は、規制も少しずつですが、緩和されつつあります。今より更に規制が緩和されて、感染対策をしながらでも何か皆さまと集まれる機会を作れることを望みながら、福利厚生の事業を進めていけたらと考えております。
もし直接お会いすることが出来ずとも、皆さまが意見を役員に伝えやすいツールを作れたらと思っております。
福利厚生部として、どのような活動が良いのかなどのご意見ありましたら、気軽にお聞かせください。
力不足な面ばかりですが、今年度も何卒よろしくお願いいたします。
福利厚生部長　大山涼子

デジタル部創設から２年目になります。
支部たよりでもデジタルについて色々な事を載せてきましたが、興味があるなしにお読み頂きありがとうございます。
２年目はより行動的な動きをして行きたいと思います。
コロナ禍３年目で、中々皆様とお会いする事が出来ないのですが、デジタルの力で何か出来る事がないかを模索中です。
まだまだ僕も勉強不足な所がありますが、支部員の方に分かりやすく、コストがかからない方法で色々な事を考えていきたいと思いますので、これからもデジタル部を宜しくお願い致します。
デジタル担当　デジタル担当　渡辺雄己

新年度が始まりました。
引き続き新型コロナ感染予防対策も行うことになりそうです。昨年からスタートした『ふるさと納税返礼品美容クーポン』は、お客様もふるさと納税には一歩踏み出せない方もまだまだいらっしゃることがわかりました。ご理解いただければ大変お得な制度です。
講習会の開催なども社会全体で賛否有ります。お集まりくださる会員・役員・講師陣など体調不良の欠席の場合は今期も延期や中止も含め臨機応変な対応が必要になると考えます。
中々デジタル化の進まない社会でしたが対面式からリモート・キャッシュレス決済など各個人の選択が自由になってきました。講習会の開催も出席の選択が出来る様になれば多くの方のご参加、活性化、感染対策などの不安解消になるかと思います。私はデジタルには疎いのですが、積極的に覚えようと始めたところです。知れば知っただけ便利だと改めて思います。役員の皆様方にはいつも助けて頂いてばかりですが、１年間頑張りますので宜しくお願いいたします。
教育・経営部長　平林善子

令和４年度、今年もコロナ禍の幕明けとなりました。
一昨年同様、支部としては、思う様にイベントが出来ませんでした。
役員会もWeb会議となり、コロナ禍でなければ経験しない事も今となっては当たり前の様に取り入れています。
支部としては現在『デジタル化』を推進しています。私自身デジタルは正直、苦手分野なのですが、広報と言う立場もあり、そうも言っておられず、周りの役員の方々に協力していただきながら奮闘しています。何事も経験・勉強です。
これから先の利便性を考えると『デジタル化』はやはり必要な取り組みと思います。
広報としても必要な情報を迅速に発信して行けたら…と考えています。
皆様のご協力あっての支部です。引き続き宜しくお願い致します。
広報部長　小島智恵子

世界中が「失われた２年」ともいえるほどもどかしい時間を過ごしてきたと思うのは、私だけでは無いでしょう。組合も、支部も、また、個人的にもあらゆる行動が制限され、ストレスが溜まる忸怩（じくじ）とした日々を過ごして来たような気がします。当然、支部員の皆様だけでなく、他業種、他業界との交流も遮断され、活動範囲が狭められ、情報を得るチャンスも少なくなりイライラする毎日ではないでしょうか。それでも日々のサロン営業は続けなければなりません。客数の減少、売り上げの落ち込みは「コロナのせい」であり、「誰のせい」にすることもできません。
そんな状況の中にあっても、サロンの生存、業界の生存、そして、組合の存続のために色々な方策を探り、より効果のある手段方法を生み出していこうとする知恵が生まれたのも確かではないでしょうか。
その一つが「デジタル」です。
ここで言う「デジタル」はコミュニケーションをとるための考え方を言います。（デジタルについてはすでに支部たよりでも連載していますのでそれをお読みください）つまり、従来の「直接対面」（＝アナログ）でのコミュニケーションに代わって、①デジタルでの対面（画像対面）や②電話に代わる通信手段（デジタル対話）、③郵便に代わるデータ送信、そして④スピーディーな情報配信へと、その方法が著しく変わってきたという事です。
前年度はコロナという疫病のために思うような事行動を執ることができませんでしたが、それを言い訳にして支部（組合）が取組むべき業務を停滞させるわけに参りません。
組合員（支部員）が求めるものはサロンの経営の安定化と活性化、そしてなにより経営者の利益です。支部はそのためにあらゆる算段と行動の思考を繰り返しながら前進する責務を負っています。
支部員全員の求めに１００%対応することはできなくても、最大公約数的な発想で最小公倍数的なアクションを起こすことは可能です。その起点として位置づけられるのが「情報発信」です。コミュニケーションのスタート地点として「情報」の提供とさらにその情報の実現化を目指すことが支部運営の主旨と考えています。
渉外・連絡部長　山本政幸

WEB明細システムをスタートします

支部では、組合費等の自動振り替えシステムを２００３（平成１５）年度から導入しており、個々の支部員に振替明細を前月に郵送しておりますが、支部財政の節約と業務の効率化並びに支部員の経済負担の軽減を目指して、今年度からWEBでの明細配信システムに変更する準備を進めています。１０月分から実行する予定で、この場合、WEB明細を希望する方については支部費を月額５０円減免することといたします。（従来どおり書面での明細送付をご希望の方は対象となりません）
システムの内容と詳細は次号以降お伝えいたしますのでご理解をお願いいたします。（２面役員会報告参照）

役員会報告

日時：令和04年05月12日（木）19：30～
場所：大和シリウス604
出席：部長９名

1.支部員異動
今月はありませんでした

2．報告・確認事項

○支部長：
コロナの影響で支部総会への出席者が少なかった。
また、座席の配置について今後は役員席と一般席の配列を考慮していく。

○財政部：
①　会計残高報告（4/30現在）

現金	39,704
郵貯	1,209,055
積立定期	460,000
合計	1,708,759

②　KBKからの支部費に関するアンケート調査の件:
・KBKから支部費に関する調査の提出が求められ、当支部の状況を報告。また、集金方法についても年６回の自動振替方式としていることを報告。（現金集金の支部もあるとのこと）

○渉外・連絡部：
・KBK理事会（4/26）報告
総代会が5／24に予定されており、当支部の各総代にはKBKから直接案内が送付される予定。
・組合をやめる会員の中には、KBKは辞めても、支部には残りたいと言う人もいるようである。
当支部でこのような状況が生じた場合の対応策の検討も必要か。

3．審議・付議・提案事項

●財政部：
①組合費請求書アップロードシステムの件：（１面参照）
口座自動振替明細書に関するwebアンケートの結果、６５名中２８名がデータ化に賛成。
その内、２０名がデータ送信、また、８名が印刷物を希望している。
web明細書の取り扱いについては、各個人固有のパスワードを設定し、各自がネット上で明細書を確認するという方法。
今年１０月スタートをめどに、９月には各個人にパスワードを送付する予定。
③　従事者の福利厚生制度の復活について：
従事者への慶弔・見舞いなどの福利厚生について、平成３年に支部規約が規定されたが、運用を休止していたためこの制度の復活を検討する。内容は、従事者（家族従業員も含む）がいるサロンを対象に、従事者一人につき月￥１００を支部費とは別枠で徴収する。従事者及びその数は毎年度４月１日現在でカウントし、１年間の固定とする。この時、従事者及びその数は事業主の自己申告とする。総会で支部予算に計上されていないので別枠の積み立て基金方式として１０月以降のスタートを予定する。
③ウクライナ人道支援金送金の件：
４地区：46,000円、個人13名：56,000円、
計：102,000円の申し出があり、５月13日にウクライナ大使館へ送金予定。

●広報部：
・次回記事投稿の件：大島祐子さん（綾北地区）に依頼。

●教育・経営企画部：
・2022年度版優良店舗ポスター更新・配布の件：
　年度が変わったことから、現在の赤色から青色に変える。A3サイズで作成し、各地区の役員経由で
月内に各店舗へ配布する（右図　⇒）

●青年部：
5/24のＫＢＫ総代会の席上で、ＫＢＫの青年部がカラー剤の使用済みチューブ回収依頼をする予定。KBKの青年部は回収したチューブで車椅子を買う事業に取り組んでいる。

●渉外連絡部：
①商工会議所サービス業部会総会（5/18）に渉外部長が出席予定
②県央役員会が5/19に予定される
③ＫＢＫ総代会（5/24）出席の確認
④地区例会再開の検討の件：
しばらく地区例会が開催されていいので、再開の検討を提案。

●デジタル担当：
・役員リール動画メッセージ作成・配信の件：
インスタグラムを使った短時間のリール動画で、役員メッセージを配信することを提案。

●その他：
次回役員会：６月９日（木）19：30～ 対面を予定

OAサポート制度ご利用のおすすめ

支部では、デジタル推進のためにOAに関するサポート制度を3年前から導入。支部員からのパソコン等の機器やソフト、操作に関する相談や対応を外部の専門家に委託しています。OAの取り扱いやトラブルでお困りの支部員は無償でご利用頂けます。
問合せ先：渉外部長

ウクライナ人道支援のご協力をありがとうございました

３月の支部たよりでウクライナの戦争被災人道支援をお願いしたところ、地区や支部員個人の皆様から総額１０２，０００円のお申し出を頂き、５月１３日にウクライナ大使館へ送金いたしました。皆様のご協力に感謝申しあげます。
※お申し出頂いた方は6月3日に引落をさせて頂きます。

事業復活支援金の申請を代行

４月５日に説明会を行った事業復活支援金について、支部員から２件の申し出がありその申請を支部が無料で代行して手続きを完了しました。
　この支援金はWEBでの申請しか認められないため、インターネットの環境が無い方や苦手な方のためにお手伝いをしました。

2022年６月支部行事予定

日		月		火		水		木		金		土	
05/29		05/30		05/31		06/01		06/02		06/03	組合費等振替	06/04	
06/05		06/06		06/07		06/08		06/09	役員会	06/10		06/11	
06/12		06/13		06/14	支部たより発送	06/15		06/16		06/17		06/18	
06/19		06/20		06/21		06/22		06/23	県央役員会	06/24		06/25	
06/26		06/27		06/28	KBK理事会	06/29		06/30		07/01		07/02	

コロナ関連補助金・助成金締め切り迫る

　コロナウィルスに振り回されている２年間ですが、政府や自治体が支援する補助金や助成金の各制度もそろそろ底に来た感があります。サロンの経営者が利用できるこれらの支援策（下表）も申請の期限が迫っていますので、申込をお考えの方は早めの手続きをお勧めいたします。

支部業務報告（04/16～05/15）

・04/20:支部たより発送
・04/22:県央ブロック役員会
・04/23:事業復活支援金の申請手続き開始
・04/26:KBK理事会
・04/28:商工会議所サービス業部会役員会
・05/10:支部総会
・05/12:支部役員会
・05/16:支部たより発送

ボランティアカット　新メンバー紹介

　皆様いつもありがとうございます。
施設ボランティアカット。私は２度目の訪問カットです。
組合では永い継続なんですね。
２０代の時に一人で施設に行きボランティアカット。
私には２０年ぶりの訪問でした。安心感がありますね。
コロナオミクロンで組合でも２年ぶりの訪問とのこと。髪の毛が絡まってしまっている方もいらして、利用者さん、とても喜んでおられました。
利用者さんのためにも定期に伺う奉仕活動はとても良いことですね。
好みをきいて、男性はツーブロック
女性は、グラボブやオードリヘップバンにしたわよって笑う元気
ねたきりの方も車いすでの行動
美容師のよさを再確認できました。
仲間に加わりカットできたこと、
ありがとうございます。
ランチも楽しかったです。
美容師ならでの会話でした。

鶴南地区
カットスタジオ　みどり　足立原雅美

ヤッシー会員募集中！！
50歳までの方なら経営者だけでなく
スタッフ、2代目、3代目もOK。
とにかく、仲間になってわいわい、
ガヤガヤ、自己主張をしませんか。
問合せは青年部長まで

ヤッシー
Ya mato
C hapter
Y outh

【支部員人数】(2022年05月12現在)	組合員数	支部内支店数	合計
南地区	8		8
中央地区	12		12
鶴南地区	16		16
中央林間地区	10	1	11
綾北地区	7		7
綾南地区	12		12
合計	65	1	66

（赤字は異動があった地域と数）

今月の公庫基準金利(2022年05月01日現在)
https://www.jfc.go.jp/n/rate/

基準金利	2.01%～2.80%
組合員優遇特利	0.30%～
小規模事業者経営改善資金	1.21%

【支部役員連絡先】	Tel	Fax	携帯	携帯 ﾒｰﾙ	PCﾒｰﾙ	Line ID
◎支部長 菊地　悦子	0467-77-0437	0467-77-0437	080-8700-3387	etsukosuikarara@au.com	psfmv69007@yahoo.co.jp	ethuko4029
◎総務部長 引地　和隆	046-269-4567	046-269-4567	080-5527-6151	1yuri-hikichi.1951@ezweb.ne.jp	ichiyuri0462694567@yahoo.co.jp	Ichiyuri0462694567
◎財政部長 野上理恵子	046-274-8194	046-274-8194	090-4939-2470	nogami-sai8194@docomo.ne.jp	nogami-sai8194@docomo.ne.jp	
◎ﾃﾞｼﾞﾀﾙ担当 渡辺　雄己	046-271-0151		090-6567-8790	camieu@nifty.com	camieu@i.softbank.jp	
◎広報部長 小島智恵子	0467-78-1101	0467-78-1101	090-5326-6574	chihoppe.yona.1125.0812@docomo.ne.jp		
◎福利厚生部長 大山　涼子	046-272-2507	046-272-2507	090-1886-9048	ryokoaburatani@gmail.com		
◎青年部長ﾔｯｼｰﾘｰﾀﾞｰ 坪井美登利	046-261-3960	046-261-3960	080-3541-9270	midori.tsu-boy910@i.softbank.jp	b.s.sanae@abelia.ocn.ne.jp	
◎教育・経営企画部長 平林　善子	0467-78-2985		090-4748-9176	yoshiko.271119.xok@docomo.ne.jp	20110306y.k@gmail.com	
◎渉外・連絡部長 山本　政幸	046-272-5707	046-275-4680	090-3221-6653	aim.gr.yamamoto@docomo.ne.jp	aim1982@silver.ocn.ne.jp	aim-1982